

三宅町所在地



GLOVE TOWN MIYAKE

ACCESS

大阪駅から約75分



京都駅から約60分



奈良駅から約35分



三宅町役場

奈良県磯城郡三宅町伴堂689
TEL:0745-44-2001(代表)

三宅町ふるさと
納税特設サイト



MIYAKE TOWN IS THE SECOND SMALLEST TOWN IN JAPAN WHERE GLOVE INDUSTRY HAS TAKEN ITS ROOT. BLESSED WITH HISTORICAL LEGACIES SUCH AS REMAINS, DITCH-ENCLOSED SETTLEMENTS AND SHRINE FORESTS AS WELL AS THE RICH RURAL ENVIRONMENT, OUR TOWN IS IN THE HEART OF ENRICHED ENVIRONMENTS THAT PROVIDE PEOPLE WITH REST AND PEACE.



GLOVE TOWN MIYAKE

グローブ産業が根付く、 日本で2番目に小さな町

三宅町は、奈良盆地の中央部に位置し、東西約3.4km、南北約2.0km、面積約4.06km²と、奈良県で最も小さな町で、全国で2番目に小さいコンパクトな町です。遺跡や環濠集落、社寺林などの歴史的環境、豊かな田園的環境に恵まれるなど、人々に憩いとやすらぎを与えてくれる環境が備わっています。三宅町でのグローブ・ミット産業の歴史は、日本での野球の普及発展とその歩みとともにしてきました。

HISTORY

- 1921(大正10)年 三宅町でグローブ製造が始まる。
- 1956(昭和31)年 グローブ・ミットの輸出が始まる。
- 1972(昭和47)年 三宅町を含めた奈良県でのグローブ製造が国内生産の90%を占めるようになる。
- 2000(平成12)年〜 三宅町のグローブ生産者の中には、自社ブランドを作り商品の高級化と各個人の様々な要求に応えることができる機動性に富んだ生産体制を確立した。
- 2015(平成27)年 ふるさと納税の返礼品としても注目される。
- 2021(令和3)年 三宅町野球グローブ生産100周年を迎えた。



MIYAKE GLOVE QUALITY

三宅町のグローブは、長い歴史の中で培われてきたノウハウが詰まっているため、全体的な品質の高さはもちろん、各工房それぞれのこだわりがあります。オーダーメイドは手にフィットするように重心を手元に持ってくることで、使用感が軽く感じます。また、すぐに使えるように柔らかいグローブがトレンドですが、硬めに作ることで比較的長持ちし、時間をかけて手にフィットするグローブに変わっていくことを楽しめる利用者にも対応しています。是非、実際にグローブを手にとってその品質を感じてみてください。

GLOVE CONSTRUCTION

MIYAKE GLOVE
QUALITY



- ① ウェブ 投手用、内野手用、外野手用があります。型や大きさもそれぞれ違います。
- ② 親指芯止め 親指用の芯がずれないように、レース(革紐)で止めます。
- ③ 親指かけ 補球時に大切な親指の効きを良くするために、ベルトで締めて自分に合わせて調節ができます。この部分がほどこけていたりすると、ボールをしっかりつかむことができないので、しっかりと締める必要があります。
- ④ 土 手 グローブの種類によって厚みや硬さが違います。
- ⑤ 土手紐 レギュラー巻き(写真)、逆巻きなどがあり巻き方によって捕球スタイルやポケット、手入れ感が違います。
- ⑥ ポケット ボールを受け取る場所です。この部分の大きさ、深さ、位置によって使いやすさが変わります。
- ⑦ 小指芯止め 小指側の芯がずれないように、レース(革紐)で止めます。
- ⑧ 指先レース この部分のレース幅(それぞれの指の間隔)を広げることで、グローブ操作のアップにもなります。



- ⑨ 小指かけ 小指の動きを伝えるため、ベルトで締めて自分に合うように調節ができます。
- ⑩ 平 裏 捕球面と同じ種類の場合は共革と言います。手入れ感を良くするために鹿革や柔らかくした革などを使う場合もあります。
- ⑪ ベルト 手の甲にあたる場所に、ムートン(羊の毛やボアという種類)という汗取り機能のあるものを付けます。
- ⑫ ラベル グローブのメーカー名がわかるように縫い付けられています。
- ⑬ ヘリ革 ベルトの縁などに巻いてある薄い革のこと。裁断した革を保護するために縫い合わせています。
- ⑭ はみ出し 指の逆反りを防ぐ役割があり、革の断面を挟み込む切りハミと、革を丸めて挟み込む玉ハミの2種類があります。